

第3回津島市行政改革有識者会議

日 時：平成30年11月28日(水)午後2時から3時13分（答申書修正のため途中15分休憩含む）

場 所：市役所4階大会議室

出席者：奥野座長、加藤委員、川上委員、齊藤委員

市長、総務部長、財政課長、市長公室長、市長公室参事、企画政策課長他4人

傍聴者：8人

1 開会

2 座長あいさつ

座長

今日で3回目となりますので、改まったあいさつは省略させていただきますが、大変お忙しい中、皆さんご苦勞様です。前回、行政改革の中身につきまして、大変ご熱心なご議論していただいたところでもあります。本日はそれをふまえて修正したものを市でご準備いただいております。再度確認・審議いただきまして、できましたら、今日市長さんへの答申をしたいと思っております。どうぞご審議よろしくお願ひします。

3 市長あいさつ

市長

皆さん、こんにちは。

本日は大変お忙しいなか、津島市行政改革有識者会議にご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。会議に先立ち一言ご挨拶を申し上げます。

これまで本市は行政改革、行財政改革の取組は、市役所内部で取組んできたわけですが、本年度からは外部の有識者の皆様に委員をお願いして、客観的な立場から、そしてまた専門的な見地から本市の行政改革についてご議論いただくという趣旨でこの行政改革有識者会議をスタートさせております。

委員の皆様におかれましては、本日も前回に引き続きまして、厳しくともまた建設的な、また積極的なご議論をお願い申し上げたいと思います。簡単ではありますが、私からのあいさつとさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願ひします。

4 議題

座長

それでは次第にしたがって進める。

次第4 議題 答申案について、津島市公共施設等適正配置計画（最終案）、答申書（案）の順に事務局から説明をしてもらい、審議をする。

<財政課から津島市公共施設等適正配置計画（最終案）について、前回からの修正箇所を説明>

<企画政策課から答申書（案）の読み上げ>

座長

意見を自由に発言していただきたい。

委員

6ページの縮減率の算出の部分について、考え方としては計画期間40年間における…のところが上

にくるといい。更新費用を見積もると①15.1億円になり、過去の平均から今後毎年更新費用に充て得るだろう金額が②7.0億円だから不足額が8.1億円となる。それ以外に40年間の維持管理費用がかかる。40年間で不足額をどうやって解消するかを考えると、①更新費用15.1億足す③維持管理費用11.7億は26.8億。不足額8.1億割る26.8億は30.2%。始めに縮減目標が31%となる説明があつて、下に表があるほうが分かりやすくなると思う。充当見込額という言葉の説明も必要だ。

座長

充当見込額は充当見込可能額だ。

財政課長

分かりやすいように順番を入れ替え、言葉の説明についても再度検討させていただく。

座長

この計画はこのままの状態公表するのか。

財政課長

その予定です。

座長

外部の人には分かりにくいかもしれない。

委員

縮減目標は上位計画である公共施設等総合管理計画で算定されたもの。今回の適正配置計画は不足額をどのように埋めるのが主題であり、縮減目標の読み取り方は本来公共施設等総合管理計画の中で理解されなければならないものだ。説明の順番は指摘のとおりだと思う。

委員

縮減目標は今回の計画の出発点だから、できるだけ皆さんに理解してもらえるように表現できるといいと思う。

座長

この図は分かりにくいから説明の文章を入れるといい。充当見込額という言葉の説明はいらぬか。

財政課長

そこは補足する。

委員

確かに充当見込額は分かりにくいので、注記をどこかに差し込むといいと思う。

座長

市民説明を実施する予定はあるか。

財政課長

市民を対象とした説明は実施済みである。

座長

今回の計画は市民にも配慮し、丁寧な説明をする努力をしていると思う。

内容的に異論はないようなので、充当見込額の説明を入れてもらいたい。市民、議員に説明する時には十分に注意するということがかか。

3 ページの下の3行について、津島は全国的に見れば財政力指数は決して低くないが、財政調整基金の残高が少なくなっている。この辺の表現はこれでいいか。

次に答申案についてのご意見をどうぞ。

委員

答申案の2の「全市一体となった理解醸成に努めること」のところについて、最初の「不可欠ですが」を消すか、もしくは、ここに「求心力を持ったトップで行く」というような文言を足して、「ただし合意形成を図りながら進める」という文末にすると文脈としてよいと思うがいかがか。

座長

「市民の皆様との合意形成は不可欠ですが」これが要らないのか。これだと、「合意形成は不可欠ですが、市はそういうことはあまり気にしません」という感じがする。

委員

次の文章にも合意形成を図りながら、とあるので削除してもいいと思う。

座長

そうだね。

下から2行目の「市議会議員の皆様には…」というのは不自然な感じがする。これはどうか。

委員

これは前回の私の発言を受けて書いてあると思う。津島市が進めようとする「学校を核としたまちづくり」は、教育の現場とコミュニティの核を統合しながら進めていくことになる。市長のリーダーシップに加え、市議会議員が地元を束ねることによりまちづくりの推進力となるのではないかというのが発言の趣旨である。計画書には書けないが、答申に付記することはできるのではないかと思う。

座長

それだと市議会議員に限定しなくてもいい。

委員

例えば、学校を核としたまちづくりを推進していくため特に地域の代表者の、と付けるとよいのではないか。

委員

付けるとしたら自治会とかではないか。

委員

それぞれに役割がある。

座長

学校教育現場、地元住民、それから市議会議員、というふうに並べれば。

それからもう一つは、「集約化への戸惑い、…不満が想定されます」、という言葉が気になる。

委員

「不満」と「戸惑い」を消して、「学校現場には集約化への不安が想定されます。」としてはどうか。

座長

行政としては不満があるような計画をよしとするわけにはいかないから「不満」は消す。「特に、…」の一文を削除し、次の「また」を取って、「特に」って言葉は入ってもいいけど、「特に地域住民、学校、教育現場においては」でどうか。

委員

今の文章を2文目に入れるのはどうですか。

「計画推進にあたり、実際には様々な困難が待ち構えていることでしょう。」その次に、「特に地域住民、学校、教育現場においては集約化への不安が想定されます。」で戻って、「このため、市民、議会、施設利用者、施設関係者、行政がともに考え、十分な情報交換や話し合いを重ね、合意形成を図りながら進めることが必要です。」とすると、「議会」が入るので先程のメッセージもここに入ると思う。

座長

今のご意見でいかがか。

「計画推進にあたり、実際には様々な困難が待ち構えていることでしょう。特に地域住民、学校、教育現場においては集約化への不安が想定されます。このため、市民、議会、云々。」議会がここに入ってくる。これで特に問題はないように思う。

それから次の「3 更なる縮減への取組に加え総合的な取組で財源確保に努めること」、表題に財源確保が出てくるのは違和感がある。取組に加え総合的な取組で改革に努めること、とするのはどうか。

委員

「総合的な改革に努めること」か。

座長

ああそうか。「総合的な改革に努めること」、か。それでもいいね。

総合的な改革の中に財源確保策に努めるという話は入る。表題に「財源確保」を入れるのはどうかと思う。中の文章は触らずに、「更なる縮減への取組に加え総合的な改革に努めること」でどうか。

他はいかがか。

委員

3番ですが、最初に「津島市の財政状況は大変厳しく」とあると、「総合管理計画にある目標と今回の計画のそれにはかい離があります」との関連がうまくつかないと思う。

座長

「津島市の財政状況は大変厳しく」を後に回して、「津島市では老朽化する施設への対応や様々な利用者ニーズへの対応、多くの課題への対処が必要であることは理解しますが、計画における縮減面積と総合管理計画に掲げる縮減目標には大きなかい離があります。津島市の財政状況は大変厳しく、この計画の確実な遂行に留まらず」云々と。そういうふう直す。他はいかがか。

それでは修正のため15分休憩とする。

(休憩中に答申書修正)

(座長に確認)

委員

できれば(2番目の)第2段落のところで「また」があったほうがいい。

企画政策課長

「また、今回の計画において…」

委員

今の段落の最後の「積極的な働きかけと十分な配慮」の「十分な配慮」は必要か。

委員

「働きかけを切望します」でいいと思う。修正は今の2か所で。

企画政策課長

修正は以上でよいか。

委員

はい。

(再度答申書を修正)

<再開>

座長

それでは、直したところを改めて事務局から説明してもらいたい。

財政課長

計画の6ページの図ですが、グラフの下にあった文章を上に移動した。「充当見込額」は※印を付け、右の下のほうに、「公共建築物の更新等のために津島市が支出可能な額」という注釈を入れた。

企画政策課長

答申案の2, 3について修正した。文章を読みあげる。

2の文章は、「計画推進にあたり、実際には様々な困難が待ち構えていることでしょう。特に地元住民、学校、教育現場においては集約化への不安が想定されます。このため、市民、議会、施設利用者、施設関係者、行政がともに考え、十分な情報交換や話し合いを重ね、合意形成を図りながら進める必要があります。」

また、今回の計画において、学校施設は適正配置の核であり、地域活動の拠点となる極めて重要な役割を持っています。「学校を核としたまちづくり」の推進に向けて、学校、教育現場の皆様の理解が醸成されるよう積極的な働きかけを切望します。」

3の見出しは「更なる縮減への取組に加え総合的な改革に努めること」とし、内容は、「津島市では老朽化する施設への対応や様々な利用者ニーズへの対応、多くの課題への対処が必要であることは理解しますが、今回の計画における縮減面積と総合管理計画に掲げる縮減目標には大きなかい離があります。」

津島市の財政状況は大変厳しく、この計画の確実な遂行に留まらず、更なる縮減への取組を継続して実施していただく必要があります。」と修正した。

座長

はい。修正箇所の確認ができた。これで答申にまとめていただきたい。

皆さんの熱心な審議によりいいものができたと思う。感謝する。答申書は会議終了後に、改めて市長にお渡しすることにさせていただく。

それでは次の議題、次第5 その他、事務局から何かあるか。

企画政策課長

1点目は、第2回会議の議事録についてである。内容を確認いただき、12月5日までに事務局へ訂正箇所があれば連絡いただきたい。

また、本日の議事録は後日メールで送信するので、確認をお願いしたい。

2点目は、「津島市公共施設等適正配置計画」の今後のスケジュールについて、である。

- ・座長から市長に先程決定された答申を渡す。
- ・答申を受け、市としての方針を検討し、庁内会議である行政経営会議に報告し、「津島市公共施設等適正配置計画」を決定する。
- ・今議会会期中に開催される総務委員会に「計画」を報告し、平成31年1月に公表する予定である。

座長

何かご質問等はあるか。

今回の議事次第の議論は以上になる。進行を事務局へお返しする。

企画政策課長

ありがとうございました。

委員の皆様には3回にわたり津島市公共施設等適正配置計画に関する審議を賜り、ありがとうございました。

ここで、市長から一言お礼を申し上げる。

市長

閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

10月5日、行政改革の1つの検討課題であります「津島市公共施設等適正配置計画案について」を、私から諮問させていただきました。

それから、市としては市民の皆様に計画案を説明する事前説明会、市民の意見を頂戴する意見広聴会を開催させていただきました。そして意見広聴会の中では皆様有識者会議の委員の方にもご出席を賜ったということでもあります。そこで直に市民の皆様の声をお聴きいただき、共有していただけたと感じております。

また有識者会議として合計3回、委員の皆様それぞれの視点から、熱心にご議論いただきました。そして本日の会議終了後に答申を頂戴するということとなります。本市の行政改革につきまして、真摯にご議論いただき、ここまでの議論の過程すべてを共有させていただきましたことは大変有意義なことであり、感謝申し上げます。

本日もちまして、1つ目の課題の審議がまとまりました。まずもってそのことに対しましてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。今後も本市の行政改革にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。お礼のあいさつとさせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

6 閉会